

# 「SAIKAI」

よく知られるように堺はかつて三つの国の境に位置していたことからサカイと呼ばれたとも言われています。今回の「SAIKAI」は堺に生まれアメリカで学び東京を拠点に活動する日高憲男の演奏会を開催し、その演目を日本の曲を中心とした公演と外国の曲を中心とした公演を行うことにより日本一のトランペットの音色とたたえられ、近年ボーカリストとしての評価も高い音楽家日高憲男の中に堺を見いだす試みです。

埼玉県深谷市旧セツ梅酒造にて

2010年5/22(土) 14:00~

会場：ソフィア堺

大阪府堺市堺市中区深井清水町1426番地  
泉北高速線「深井」駅より徒歩12分  
TEL：072-270-8110

演目：「外国の曲を中心に」

出演：日高憲男(トランペット)

フィリップストレンジ(ピアノ)

木村知之(ベース)

光田臣(ドラム)

前売り券：各回3500円(当日券4000円)

お問い合わせとご予約 TEL03-6206-2385 Email:nana@speaker-inc.com

ナナツユメ実行委員会 | 新たな文化の波紋を酒造の蔵から

ウェブサイト<http://nana-tsuyume.com>もしくは <http://xn--bdkla7gya.com>

ツイッター：<http://twitter.com/nanatsuyume>

2010年5/23(日) 14:00~

会場：東文化会館

大阪府堺市東区北野田1084-136  
南海高野線「北野田」より徒歩2分  
TEL：072-230-0134

演目：「日本の曲を中心に」

出演：日高憲男(トランペット)

生田幸子(ピアノ)

木村知之(ベース)

高橋延吉(ドラム)

日高憲男(トランペット, ボーカル)

堺に生まれる。五歳からクラシックピアノを習い、中学生より吹奏楽部でトランペットを吹く。18歳で渡米し、シカゴ交響楽団のマーク・ライデナー氏に師事、クラシック音楽を勉強し、グランドフォークスソロコンテスト優勝など輝かしい成績を遺す。留学4年目頃からジャズを始める。シカゴ音楽大学を首席で卒業。後にラムゼイ・ルイス、ジョー・ロバート等と共演。2003年12月ファーストアルバム「Still in my Heart」をリリース。Euro Jazz Festival 2003に出演し、カーリン・クロッグ Voc.、ウラジミール・シャフラノフ P. 等と共演し、絶賛される。2005年、横浜パンパシフィック ジャズコンペティションにて優勝。2008年8月20日セカンドアルバム「Nothin' To Lose For You」をリリース。ジャズ評論家、岩波洋三氏のコメント「日本でもっとも美しい音色を持つトランペッター 日高憲男。柔らかな艶やかな歌声とラッパが細胞に響き渡る」ジャズ批評誌オーディオディスク大賞2009ボーカル部門にて日本人初の入賞を果たす。2009年10月21日サードアルバム「朧月」をリリース。プログ村ミュージシャン人気ランキング1位。現在は東京、横浜を中心に、自身のオリジナル曲を交えたライブイベント等に出演する。

Dr. フィリップストレンジ(ピアノ)

過去25年間に渡り、ジャズ・ピアニスト、作曲家、そして大学教授として活躍中。ジョー・ヘンダーソン、ルー・タバキン、デーブ・ホーランド、アーニー・ワッツ、ピーター・アースキン、マーク・ジョンソン、ジェームス・ムーディー、ケビン・マホガニー、アイラ・サリバン、グレン・ミラー、オーケストラ等と、アメリカ、ヨーロッパ、そしてここ日本で共演し、また、20数枚のCDにFeatured Artist、またはGuest Artistとしても参加。2006年1月にアメリカでリリースされた最新CD「In the Moment」は、早くも本国の各ジャズ誌で好評を得る。最近では、Santa Fe Jazz FestivalやTelluride Jazz Festivalでも演奏。

生田幸子(ピアノ)

大阪生まれ。4歳よりエレキギターを、10歳からピアノとドラムを始める。ヤマハ主催のJOC(ジュニア・オリジナル・コンサート)に15歳まで毎年出演し、合歓の郷にて世界各国の子供達と共演し'81,'82年のアンサンブル大会では2年連続グランプリを受賞。16歳で武道館に於ける第17回世界歌謡祭にはパーカッショニストとしてゲスト出演。'93年には堺青年会議所主催の環境キャンペーンのテーマソングをアレンジ・レコーディングに参加。大学時代にジャズと巡り合い、高橋俊男氏に師事。それ以後、京阪神を中心にコンサート・ライブ活動を展開。近年における活動は目覚しく、エディー・ヘンダーソン、オテロ・モリノ、日野皓正・土岐英史・峰厚介・川嶋哲郎・多田誠司・TOKU・大坂昌彦・原大カ・江藤良人・井上陽介ら世界及び日本を代表するジャズ・ミュージシャンと数多くのセッションを重ね、2001年6月ドイツ統一を祝うフェスティバルにトランペットの嶋本高之氏と参加。2002年4月越智順子と共にNHK FMセッション505に出演及びツアーにも参加。2002年10月には初リーダーアルバム「My Language」をリリース。2008年「第1回なにわジャズ大賞」受賞。現在はジャズに留まらず、持ち前の好奇心を生かしラテン・フュージョン・シャンソン・現代音楽等幅広いジャンルにおいて非常に高い評価を得る。